

こんにちは

-No.34-

日本共産党 東村山市議会議員



山田たか子です

山田たか子事務所

TEL 395-4973

携帯090-5824-7597

<秋津事務所>

秋津町4-39-71

<青葉事務所>

青葉町2-28-6



## 東村山を変える超党派議員連盟 合同議会報告会を開催！

8月9日(日)超党派議員合同で、初の議会報告会を開催しました。

立憲民主党：藤田まさみ

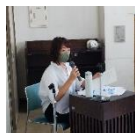
草の根市民クラブ：朝木直子

日本共産党：山口みよ、浅見みどり、渡辺みのる、さとう直子、山田たか子の7名です。

初めての試みでしたが、当日の会場では、質問も交え参加者の皆さんと交流ができました。

「一緒にやれることのすばらしさ、私達も議員さんの話が聞けてよかった!」「東村山はこんなにくさっているのかと驚いた。(議会基本条例)」等感想を沢山いただきました。

市議会のことを知ってほしい、議案や陳情に対する賛否の理由を伝えたい等、それぞれの立場から報告しました。



議員の質問権のはく奪につながる、現在の議会基本条例のおかしさや、大きな会派が優遇される議会運営など、民主的(自由と平等を尊重する)な政治に変えていく為に、違い

を認め合いながら、力を合わせていきます。



♪平和と~自由を~求~めて  
生きて~ゆけばいいのさ~  
『♪ケサラ』より

## 活動報告・今後の日程

### 8月2日尾崎あや子都議議員 都政報告会

これまでは、市議団の市政報告と一緒にしていた都政報告。今回はコロナ禍の都政の状況や課題をたっぷり学びました。「こんな状況で都立・公社病院をなくすなんて、とんでもない!」と、皆さんと問題を共有。

### 9月市議会日程

- 9月1日 一般質問  
(さとう・渡辺・山田)
- 2日 一般質問  
(浅見・山口)
- 3日 一般質問
- 7日 政策総務委員会
- 8日 厚生委員会
- 9日 まちづくり環境委員会
- 10日 生活文教委員会
- 11日 議会運営委員会  
議員報酬特別委員会
- 15日~18日  
※決算特別委員会
- 29日 定例会最終日

### ★市議会の傍聴ができます★

コロナ対策により、定員は先着14名で、別室でのモニター視聴となります。

また、東村山市議会ホームページの議会中継からもご覧いただけます。

※9月議会では、2019年度の決算審議が行われます。

## 東村山 PCR 検査センター設置は いつ!?

身近でできる PCR 検査は、多くの方の関心ごとです。9月議会には市民から「PCR 検査推進基金条例の設置」を求める陳情が提出されました。東村山市議会基本条例では「陳情と同じ内容の一般質問はできない」と、議員自らを縛るルールがあります。

6月に続き、今回は PCR 検査についての質問は一切できません。「戦後最大の危機」「未曾有の出来事」と言われる中、

これまでのルールをきっちり守る律儀な議会です。

無症状の方が感染拡大させている懸念もあります。感染拡大を抑えるために検査対象者を拡大し、早期の陽性者保護・隔離が必要です。

日本共産党が求め続けてきた検査センターは、清瀬市との共同で準備が進められています。ただ、明らかになるのは9月議会最終日です。緊急時、市民の命を守るためのスピードは言うまでもありません。

# 声をあげたら動かせる！！ ～教科書採択編

学校の教科書選定は、各自治体で行われます。東村山市では、2021年度から中学生が使用する教科書が、6月、市内図書館に見本本として展示されました。7月31日、東村山市教育委員会臨時会が公開による教科書採択が行われました。傍聴者の人数に、関心の高さが感じられました。

なぜ、教科書選定が大切なのか？  
今は、インターネットで様々な情報を手に入れる事ができます。



子ども達が学校でであう初めての教科書には、各社毎に特徴があります。どのように事実を学ぶか、どんな子ども達に育ててもらいたいかなどの視点で、教科書選択は重要です。特に社会分野では、憲法や戦争に対する取り上げ方が異なりました。例えば…  
日本軍国主義での侵略戦争と植民地支配を美化するような、偏った教科書も。

見本本展示期間中には、80を超える市民からのアンケートが寄せられました。市民の声から「客観性を重視したい」という教育委員さんの発言につながったことが、とても印象的です。その結果、偏った教科書採択には至りませんでした。

アンケート・会議の傍聴・学習会への参加等、様々な関り方があると思います。それぞれの出来る方法で声をあげることができるのですね。

多くの方が教育・くらし・就労・福祉…様々な課題に直面されているのではないのでしょうか？  
みなさんは、どんなときに・どうやって声をあげますか？



一緒に、どんどん声をあげていきましょう♪  
お困りごとがありましたら、ご相談ください。

## 公共施設の再生計画

学校をはじめとする、市内の公共施設の老朽化が進んでる中、市は今後の公共施設のあり方の大きな見直しの検討を進めています。

その一つとして「施設再生ケーススタディブック」が作成され、市のホームページからもご覧いただけます。私たちの暮らし方が大きく変わる提案です。ただ、そこには「最悪のシナリオを避けるために」「人口減少や将来世代にツケを回さない」等、不安になるような記載もあります。

そもそも人口減少は、今の社会の仕組みの結果であり、そこを改善すれば未来は大きく変わります。

子どもたちの学校施設と図書館や公民館施設、コンビニやスーパー等を一か所にまとめて…との案。



みなさんは、どうお考えになりますか？

## 子どもの生活実態調査を

2013年に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が国会で成立。どの子も生まれ育った環境に左右されずに、社会全体で支えていこう！という内容です。そして将来のみならず、現在に向けた対策となっているところが特徴です。

武蔵村山市や清瀬市は、すでに実態調査を行っています。今、コロナの影響で大変な声を伺う中で、武蔵村山市は6か月間の給食費無償化、4月28日以降に生まれる同学年のお子さんにも10万円給付など、独自施策を行っています。実態がわかれば、それに応じた有効な施策の実現が可能となります。



9月の一般質問では、まずは東村山市の実態を把握するための実態調査の実現を求める予定です。

